

L'ORÉAL

仏・ロレアル エクイリープが選ぶ世界で最もジェンダー平等な企業に5度目のランクイン

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社：パリ）は、蘭 NGO 法人「Equileap（エクイリープ）」による「Global Gender Equality Ranking（世界ジェンダー平等ランキング）」において、世界で最もジェンダーバランスの取れた企業トップ 20 に5年連続でランクインしました。この調査は、全世界の従業員1億200万人に相当する3,895社を対象に、23カ国のジェンダー平等について19の詳細な基準に基づいて調べたものです。今年もロレアルはフランスで1位（ダノンと同率）となり、世界でトップ20にランクインしました。

ジェンダー平等の先駆者であるロレアル

私たちは会社のすべての職階 および部署においてジェンダー平等を達成し、世界のあらゆる場所でLGBTQIA+コミュニティを支持します。より包括的な環境の確立に貢献し、あらゆる種類のハラスメントや暴力、特にセクハラやジェンダーに基づく暴力に反対します。

ロレアルグループのCEOであるニコラ・イエロニムスは次の通りコメントしています。「ジェンダー平等において、エクイリープから5年連続でフランス第1位、世界第20位に認定されたことを誇りに思います。私たちが長年にわたって取り組んできたDE&I（ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン：多様性、公平、包摂）は、当社の非財務面での業績と、ロレアルのパーパスである『世界をつき動かすような美の創造』の実現のために重要なことです。エクイリープのようなパートナーが私たちのコミットメントを測定してくれることで、私たちは継続的に改善していくことができます」

2021年末時点で、ロレアルにおいて女性が占める割合

- グローバル全体の社員の69%
- 取締役会メンバーの50%
- グループのエグゼクティブ・コミッティーメンバーの32%
- リーダーシップ職についている社員の55%
- グローバルブランドのゼネラルマネージャーの59%
- 海外駐在員の49%
- 昇進した社員の66%

エクイリープのCEOであるダイアナ・ヴァン・マースダイクは次の通り述べています。「第5回年次報告書では、ジェンダー平等に向けた継続的な進捗が示されていました。非常にゆっくりではありますが、着実に改善されています。新型コロナウイルスによる影響にも関わらず、ほとんどの指標で少しずつの進捗が、毎年維持されています。しかし、自己満足に浸る余地はありません。この5年間で、#MeToo運動が起こり、80カ国以上でのウィメンズマーチが開催され、初の女性だけの宇宙飛行まで実現しました。その一方で、世界的に見ると、賃金格差を解消できたのはわずか19社、すべての職階でジェンダー平等を達成したのはわずか18社です。企業、投資家、政府が行動を起こすべきときが来たのです」

ロレアルについて <https://www.loreal.com/en/>

ロレアルは、100年以上にわたって美に専念してきました。35の多様で補完的なブランドからなる独自の国際的なポートフォリオにより、グループは2020年に279億9000万ユーロの売上高を達成し、世界中で85,400人の従業員を雇用しています。世界有数のビューティーカンパニーであるロレアルは、マス市場、百貨店、調剤薬局・ドラッグストア、ヘアサロン、トラベルリテール、ブランドリテール、Eコマースなど、あらゆる流通ネットワークに展開しています。研究とイノベーション、そして4,000人の研究専任チームは、ロレアルの戦略の中核であり、世界中の美への熱望を叶えるために活動しています。ロレアルは、2030年に向けてグループ全体で意欲的な持続可能な開発目標を掲げ、より包括的でサステナブルな社会に向けてエコシステムを強化することを目指しています。

日本ロレアルについて <https://www.loreal.com/ja-jp/japan/>

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2021年末時点での社員数は、2,270人、2021年12月現在の取り扱いブランドは18です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。日本はロレアルグループのなかで戦略的拠点のひとつであり、マーケティングならびに営業拠点のほか、研究開発所（日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター）と製造工場（株式会社コスメロール）とシュウウエムラとタカミの2つのブランドの本社組織（商品企画やグローバル展開施策を策定する組織）を有しています。

¹ L'ORÉAL Annual Report 2020 に基づく